

令和7年度 受精卵移植関連新技術全国会議(第 29 回)

開催要領

1. 開催趣旨

本会議は、平成 26 年度から受精卵移植関連新技術全国会議という名称となり、受精卵移植に関連する試験や実務を担う全ての機関や技術者を対象に開催しています。

今回の会議では、畜産物の生産基盤をより強化するため、畜産をめぐる最近の動向、ウシ育種改良を中心とした最新の話題提供、さらに受精卵移植関連の共同試験の実施状況を紹介します。これらの取組を通じ、関係者間の情報交換及び研究の連携構築を図ります。

2. 開催日時

令和 8 年 3 月 12 日(木曜日) 13 時 15 分～17 時 15 分

3. 開催方法

Microsoft Teams を使ったウェブ開催

4. 主催

独立行政法人 家畜改良センター

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門

5. 内容

(1)開会の挨拶(13 時 15 分～13 時 30 分)

独立行政法人 家畜改良センター 理事長 入江 正和

農研機構 畜産研究部門 所長 石井 和雄

(2)行政部局からの情勢報告 (13 時 30 分～13 時 50 分)

農林水産省畜産局畜産振興課 課長補佐

中村 主貴 氏

(3)受精卵移植をめぐる最近の動向「牛の育種改良における取組」 (13 時 55 分～16 時 35 分)

1)「ウシの育種改良への繁殖技術の効果的な利用を考える-繁殖技術者の役割-」(50 分間)

酪農学園大学農食環境学群 教授

堂地 修 氏

2)「北海道の和牛改良と全共」(45 分間)

一般社団法人北海道酪農畜産協会 家畜登録改良部長

岸 大輔 氏

3)「近年のホルスタインの遺伝的能力評価の取組」(20 分間)

家畜改良センター改良部情報分析課 乳用牛データベース係長
大澤 剛史 氏

4)「家畜改良センターにおける肉用牛改良業務と今後の改良の方向性」(20 分間)

家畜改良センター改良部種畜課 肉用牛改良係長
稲葉 泰志 氏

5)総合討論 (15 分間)

(4)繁殖技術共同試験グループの実施状況について (16 時 40 分～17 時 10 分)

ウシ胚移植における受胎率に影響する要因の調査

神奈川県畜産技術センター企画指導部企画研究課 技師
湯本 森矢 氏

OPU-IVP による効率的ウシ体外受精由来胚生産方法の検討 (第 2 報)

山口県農林総合技術センター畜産技術部家畜改良研究室 専門研究員
長尾 裕美子 氏

閉会 (～17 時 15 分)

6. 参集範囲

農林水産省、独立行政法人、国立研究開発法人、都道府県、大学、民間企業等の関係者

7. 事務局

独立行政法人 家畜改良センター 企画調整部 管理課 繁殖技術チーム (吉岡、宮下)

TEL: 0248-25-6165 E-mail: ettech※nlbc.go.jp (「※」を「@」に変えて送信して下さい)

8. 参加申込

下記の URL(Google フォーム)からお申込みください。同一団体で複数名参加される場合も各個人で手続きをお願いいたします。

(当日の接続 URL は、ご登録いただいたアドレスに etetch@nlbc.go.jp より前日までに送信します)

<https://forms.gle/F84xyFKwoFzVmQYM8>

申込締切: 令和 8 年 3 月 6 日(金曜日)

但し、定員 200 名に到達した場合は、締切日前に申込を終了させていただきます。